

2018年7月30日
株式会社日本政策金融公庫

第197回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2018年4～6月期実績、7～9月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、改善傾向に一服感がみられる
～景況は弱い動きがみられるが、先行きについては持ち直しの見込み～**

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD.I.は、▲4.7とマイナス幅がやや拡大した。
○ 借入難易感D.I.は、2.7と横ばいとなり、7期連続でプラスとなった。
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。
○ 来期(18年7～9月)における保証利用要請D.I.は、1.0と横ばいとなった。
※ 保証利用要請D.I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上D.I.は、▲2.0と低下し、マイナスに転じた。
○ 採算D.I.は、▲5.4とマイナス幅がやや拡大した。

- 【特別調査】 「金融機関との取引状況等について」
○ 9割超の企業にメインバンクがあり、借入をしている金融機関数については、7割弱の企業が2機関以上となっている。
○ メインバンクからの訪問頻度については、「1週間に1回以上」、「半月に1回以上」及び「1ヶ月に1回以上」と回答した先の合計は概ね5割となっている。
○ メインバンクに対する満足度については、「コミュニケーション」及び「金融支援」に関する項目では、「満足」又は「やや満足」と回答している企業が、概ね5割から6割となっているが、「経営支援」に関する項目では、概ね2割となっている。

<調査の要領> 調査時点 2018年6月中旬
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先
16,000企業を対象としており、**回答企業の約81%が従業員20人以下の小規模企業**となっています。
有効回答企業数 4,712企業
回答率 29.5%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:山嶋、土田、佐藤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

(1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲4.7とマイナス幅がやや拡大した。

		2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6	7-9
資金繰りD.I.	実績	▲4.2	▲5.9	▲2.2	▲3.2	▲4.7	
	見通し	▲1.1	▲1.0	0.1	2.1	▲0.7	▲1.9

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

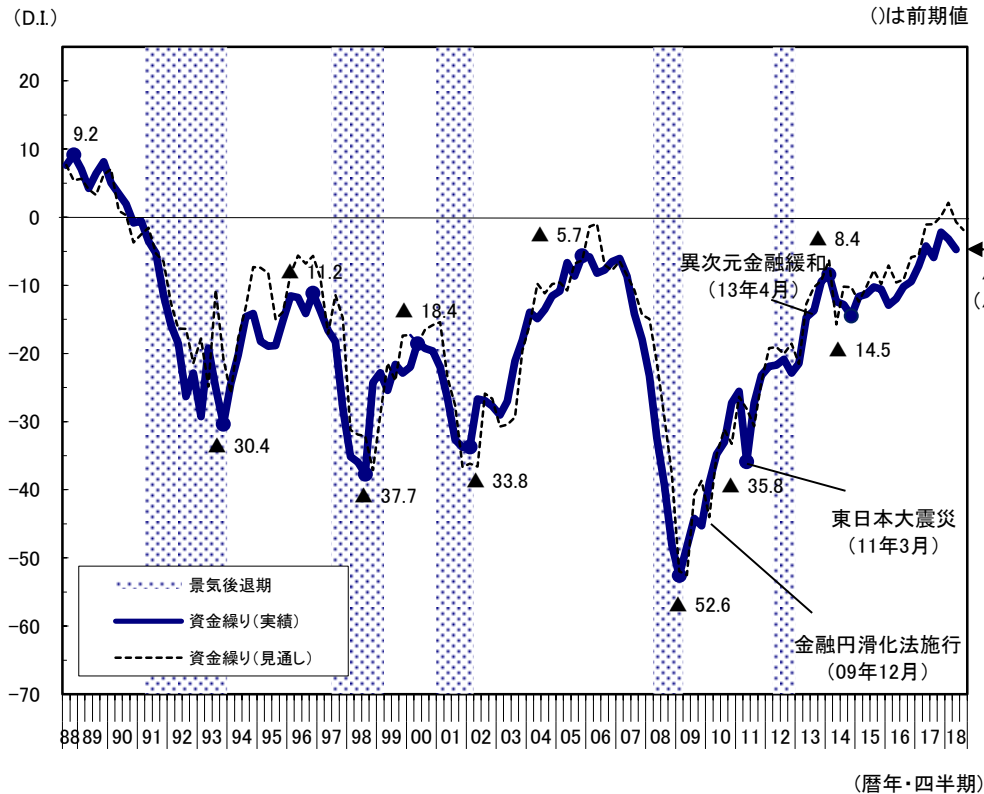
(2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、2.7と横ばいとなり、7期連続でプラスとなった。

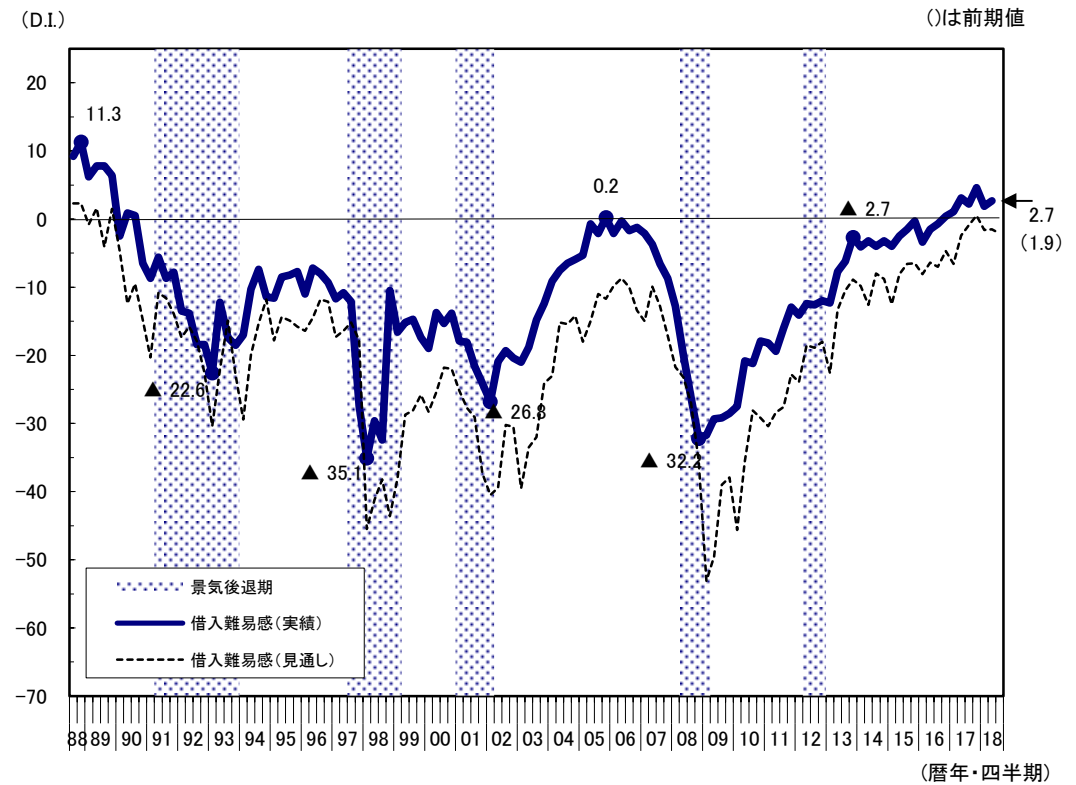
		2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6	7-9
借入難易感D.I.	実績	3.1	2.2	4.6	1.9	2.7	
	見通し	▲2.4	▲0.9	0.5	▲1.6	▲1.5	▲2.1

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



借入難易感D.I.の推移



(3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
従業員規模別にみると、「21人以上」の企業層がやや増加した。

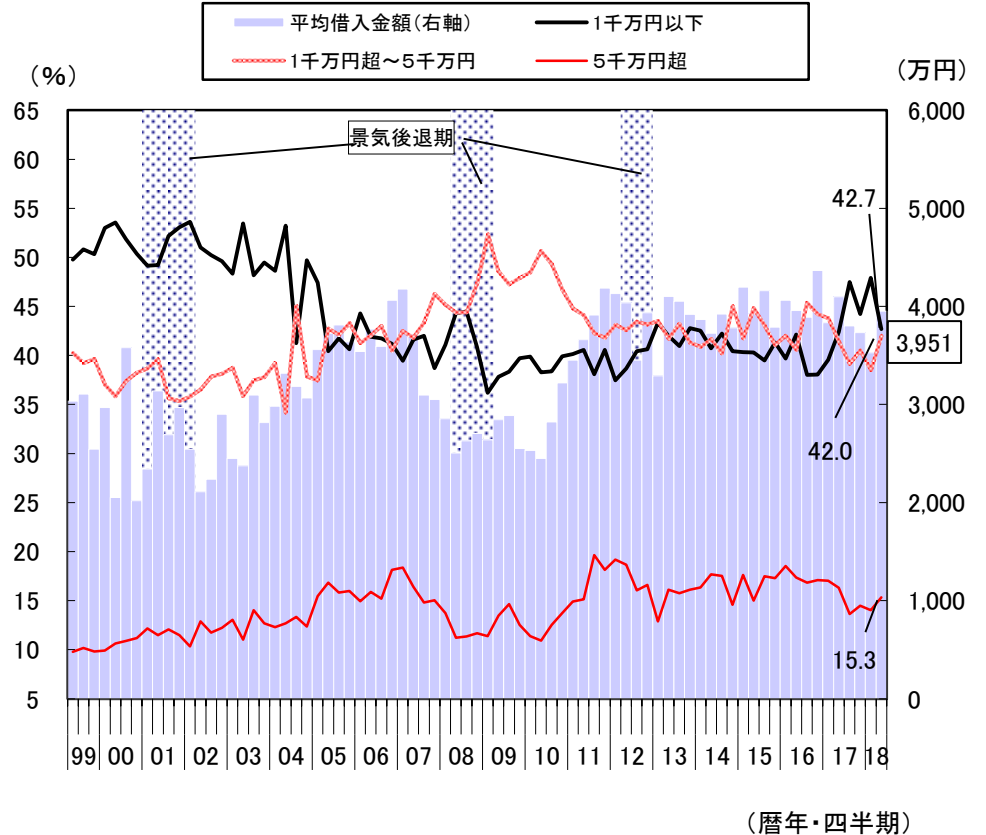
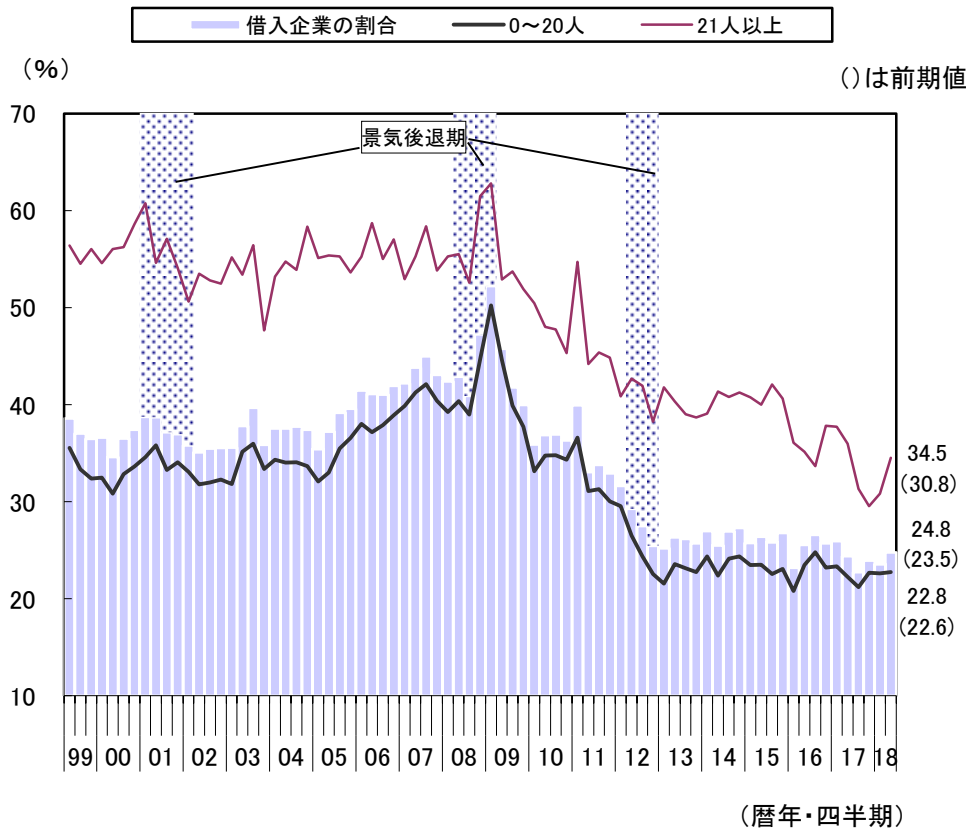
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」が減少した
一方で、「1千万円超～5千万円」及び「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6
借入企業の割合	24.4	22.7	24.0	23.5	24.8
0-20人	22.3	21.2	22.7	22.6	22.8
21人以上	36.0	31.3	29.5	30.8	34.5

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

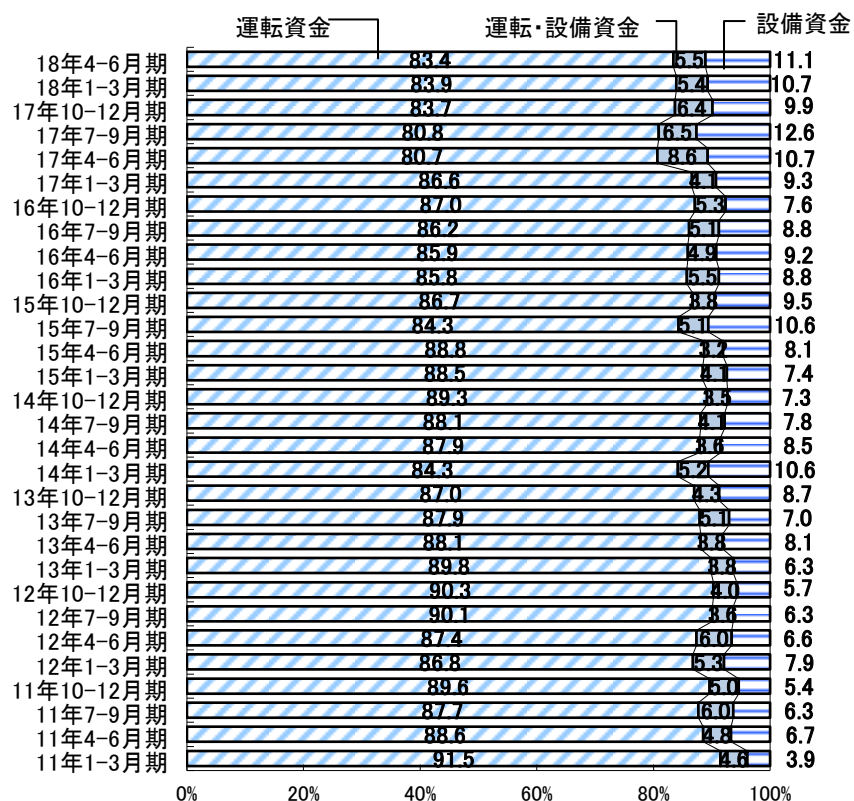
	2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6
1千万円以下	42.4	47.5	44.2	47.9	42.7
1千万円超～5千万円	41.4	39.1	40.5	38.5	42.0
5千万円超	16.3	13.6	14.5	14.0	15.3



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

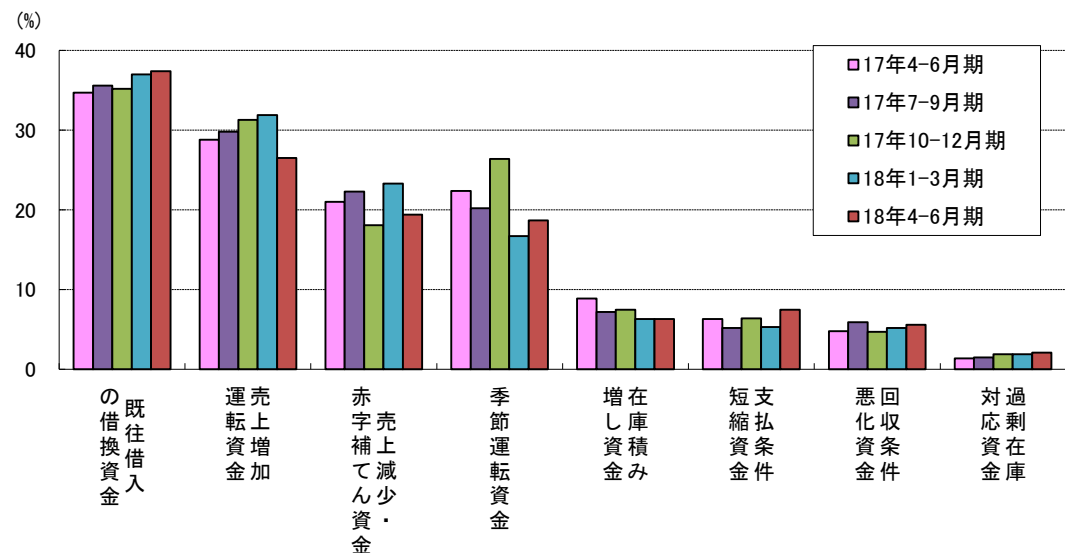
・資金使途については、設備資金が10%を上回り、引き続き高い水準となっている。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金	
18年	4-6月期	37.4	26.5	19.4	18.7	6.3	7.5	5.6	2.1
	1-3月期	37.0	31.9	23.3	16.7	6.3	5.3	5.2	1.9
17年	10-12月期	35.2	31.3	18.1	26.4	7.5	6.4	4.7	1.9
	7-9月期	35.6	29.8	22.3	20.2	7.2	5.2	5.9	1.5
	4-6月期	34.7	28.8	21.0	22.4	8.9	6.3	4.8	1.4



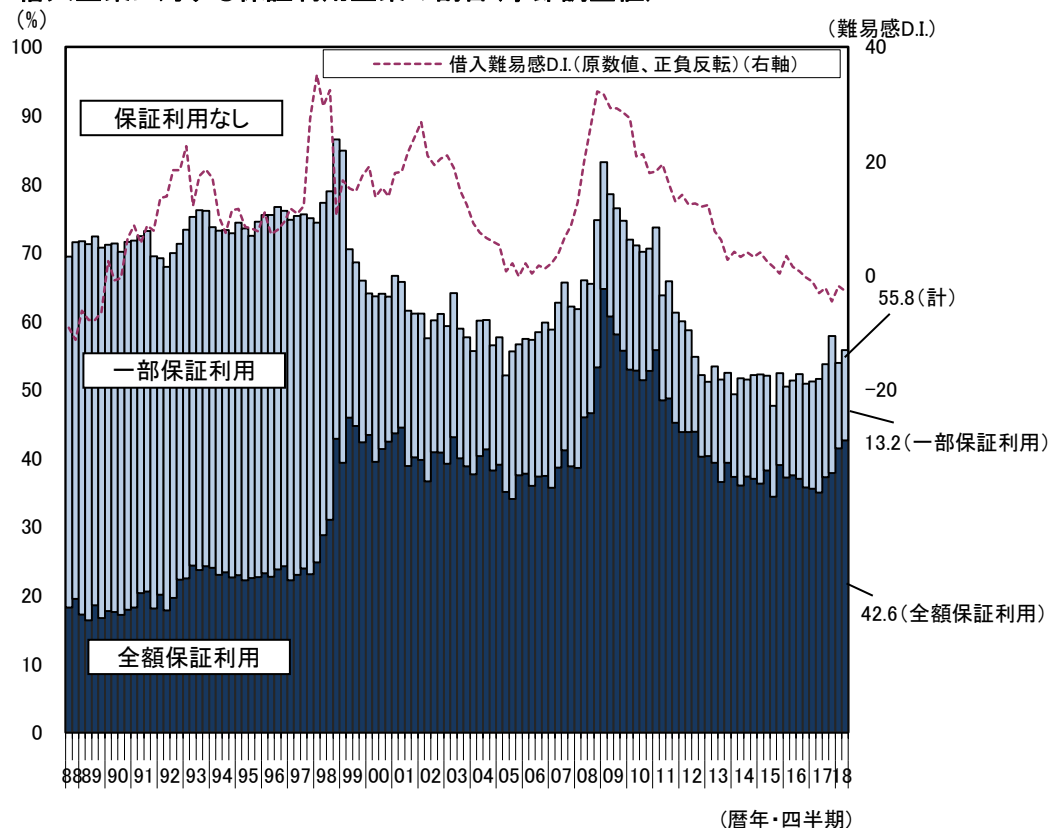
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや増加した。保証利用割合別にみると、「全額利用」はやや増加した一方、「一部利用」は横ばい。

	2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6
保証利用企業の割合	51.6	53.7	57.8	53.9	55.8
全額利用	35.0	37.2	37.8	41.4	42.6
一部利用	16.6	16.5	20.0	12.5	13.2
保証利用がない企業の割合	48.4	46.3	42.2	46.1	44.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したものの。

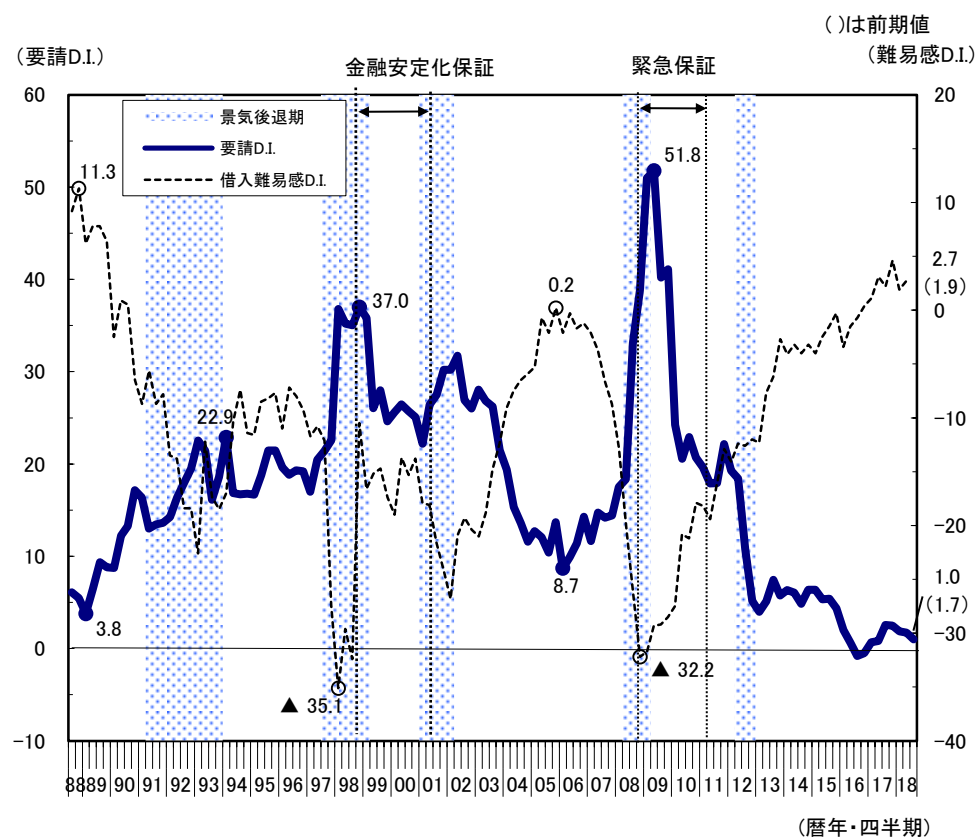
(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

・来期(18年7~9月)における保証利用要請D.I.は、1.0と横ばいとなった。

	2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6	7-9
要請D.I. 見通し	0.8	2.5	2.5	1.9	1.7	1.0
借入難易感D.I. 実績	3.1	2.2	4.6	1.9	2.7	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。
2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移



(5) 生産・売上

・生産・売上D.I.は、▲2.0と低下し、マイナスに転じた。

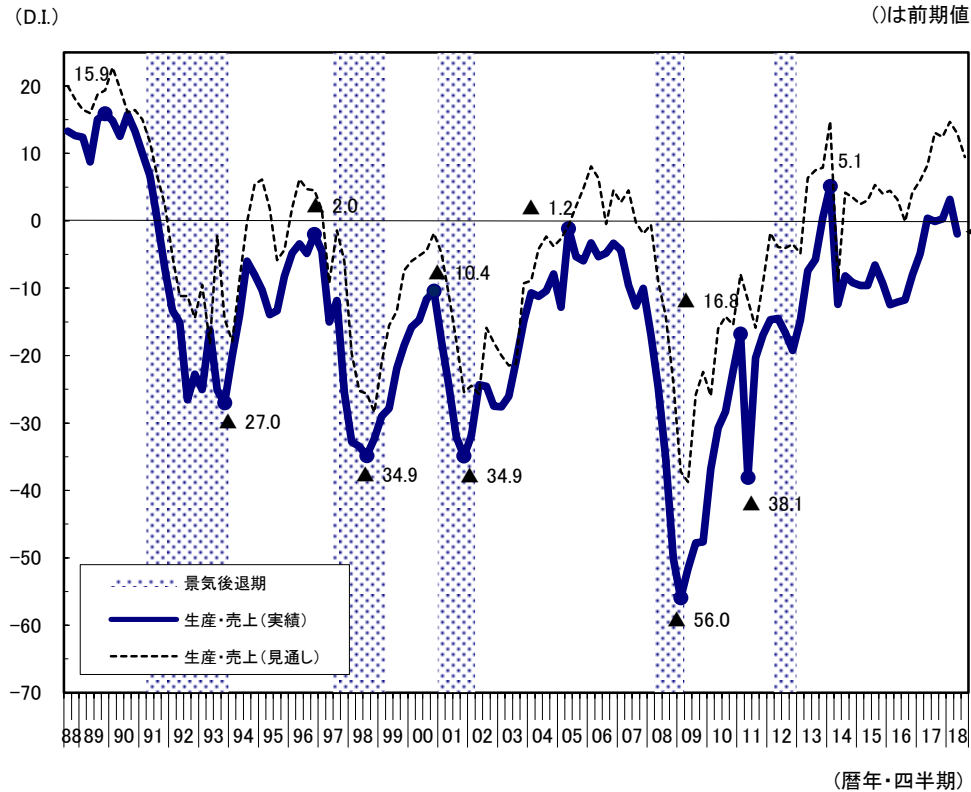
		2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6	7-9
生産・売上D.I.	実績	0.4	▲0.1	0.3	3.2	▲2.0	
	見通し	8.2	13.1	12.5	14.7	13.0	9.5

(注) 前期比。生産・売上D.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上(業種別)

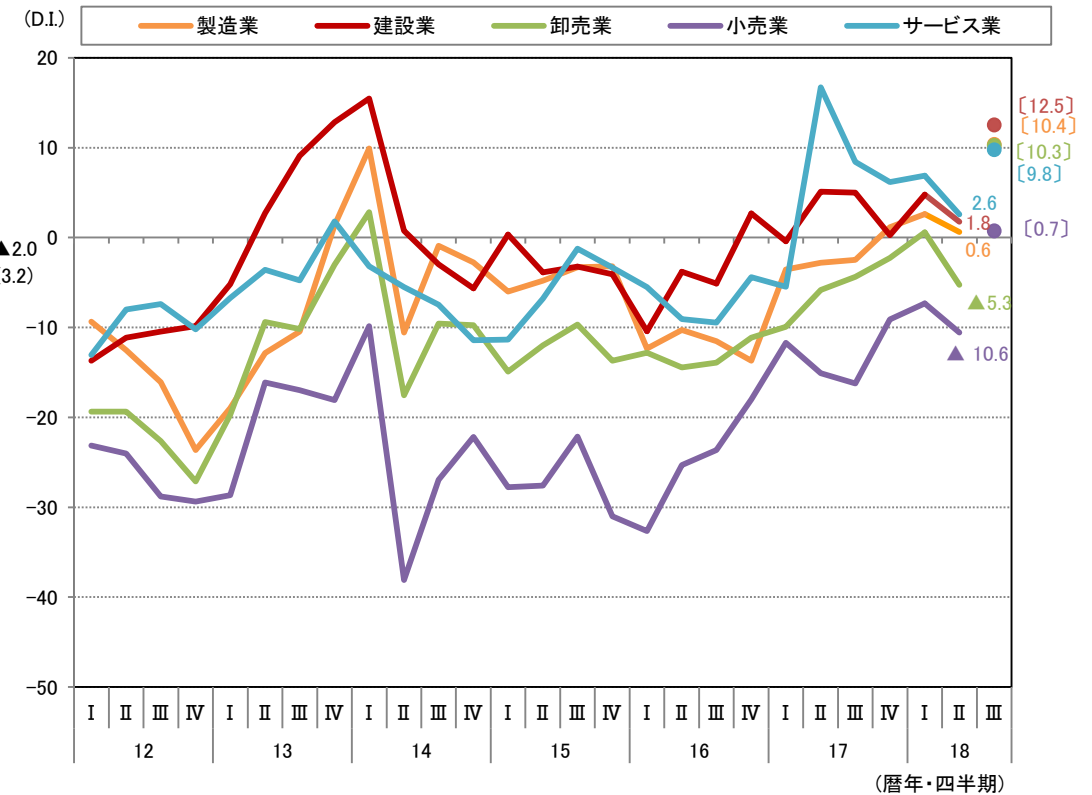
・生産・売上D.I.(業種別)は、卸売業がマイナスに転じ、サービス業、建設業及び製造業でやや低下した。
また、小売業ではマイナス幅がやや拡大した。

生産・売上D.I.(季節調整値)の推移



業種別生産・売上D.I.(季節調整値)の推移

()は来期見通し(当期比)

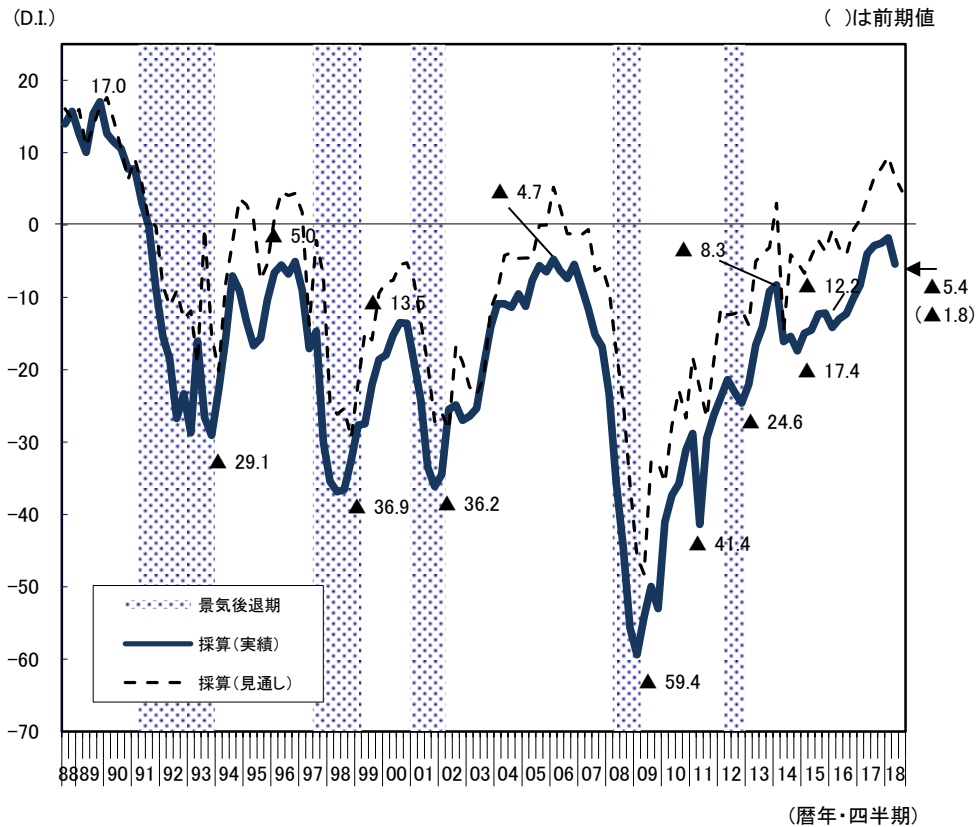


(6) 採算

・採算D.I.は、▲5.4とマイナス幅がやや拡大した。

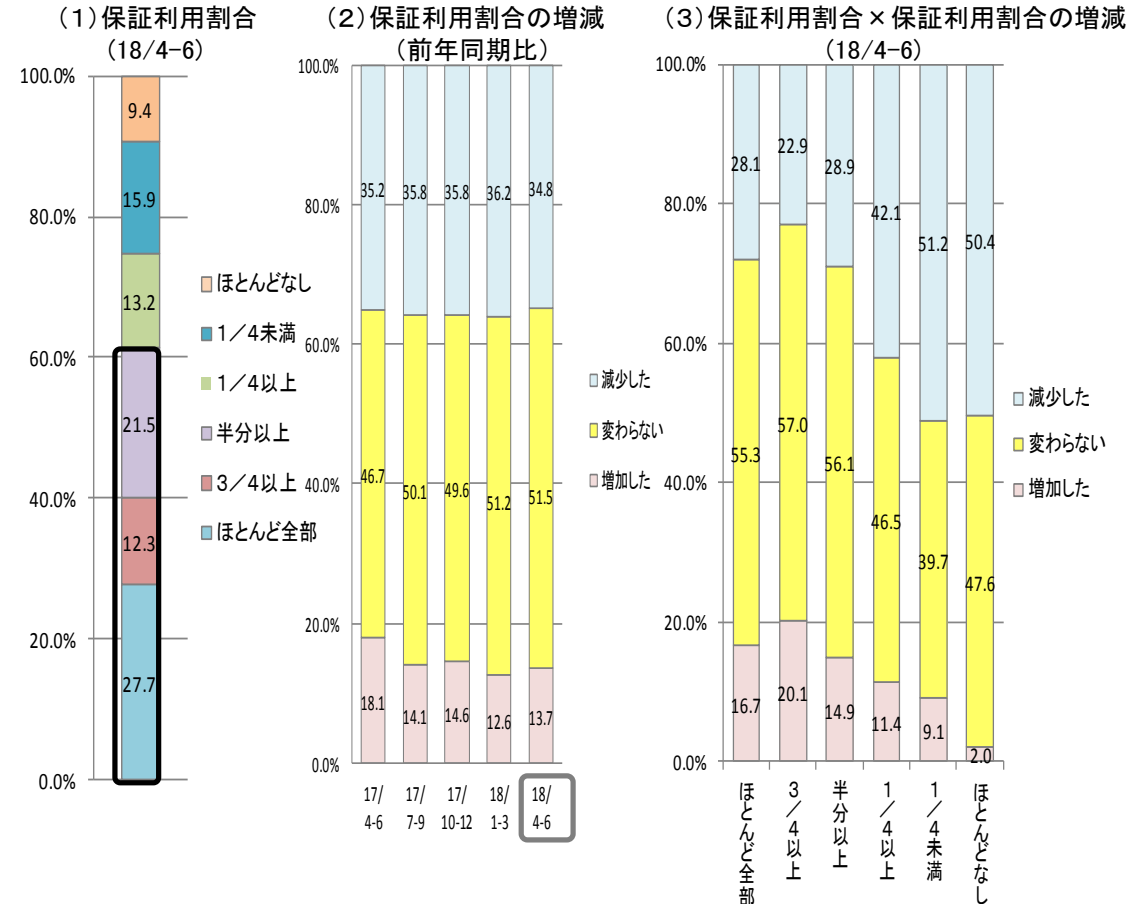
		2017/4-6	7-9	10-12	2018/1-3	4-6	7-9
採算D.I.	実績	▲4.0	▲2.9	▲2.5	▲1.8	▲5.4	
	見通し	3.8	6.5	7.8	9.5	6.6	4.7

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が60%強となった。
- ・前年同期末と比べた信用保証利用の割合の増減については、減少したと回答した企業が34.8%、変わらないが51.5%、増加したが13.7%となった。
- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合が少ないほど、前年同期末と比べて信用保証利用の割合が減少する企業が多くなる傾向がみられた。



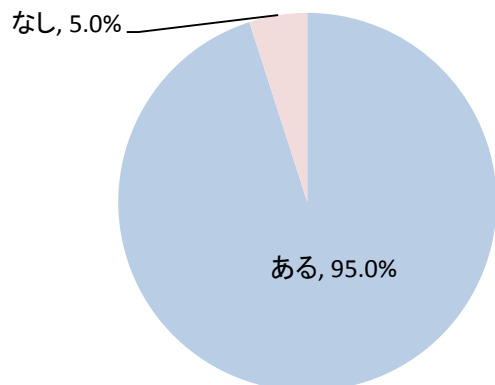
特別調査

(1) 金融機関との取引状況

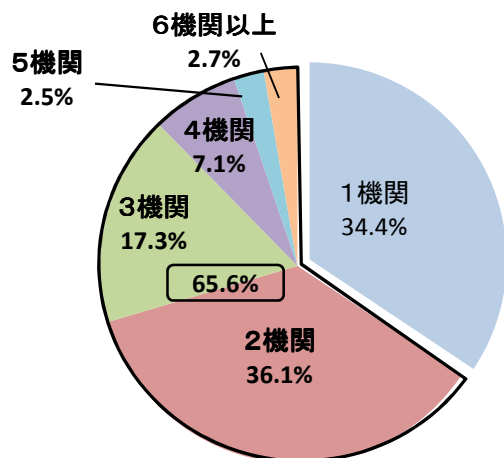
- ・メインバンクの有無については、9割超の企業が、メインバンクがあると回答している。
- ・借入をしている金融機関数については、7割弱の企業が、2機関以上となっている。
- ・メインバンクの金融機関業態については、信用金庫(構成比37.5%)が最も多く、次いで地銀(同36.8%)となっており、両方で7割以上を占めている。また、従業員規模別にみると、従業員規模が小さくなるほど、信用金庫をメインバンクとする構成比が高くなっている。

(注)本調査では、借入・預金残高にかかわらず、企業がメインバンクであると認識している金融機関を「メインバンク」としている。

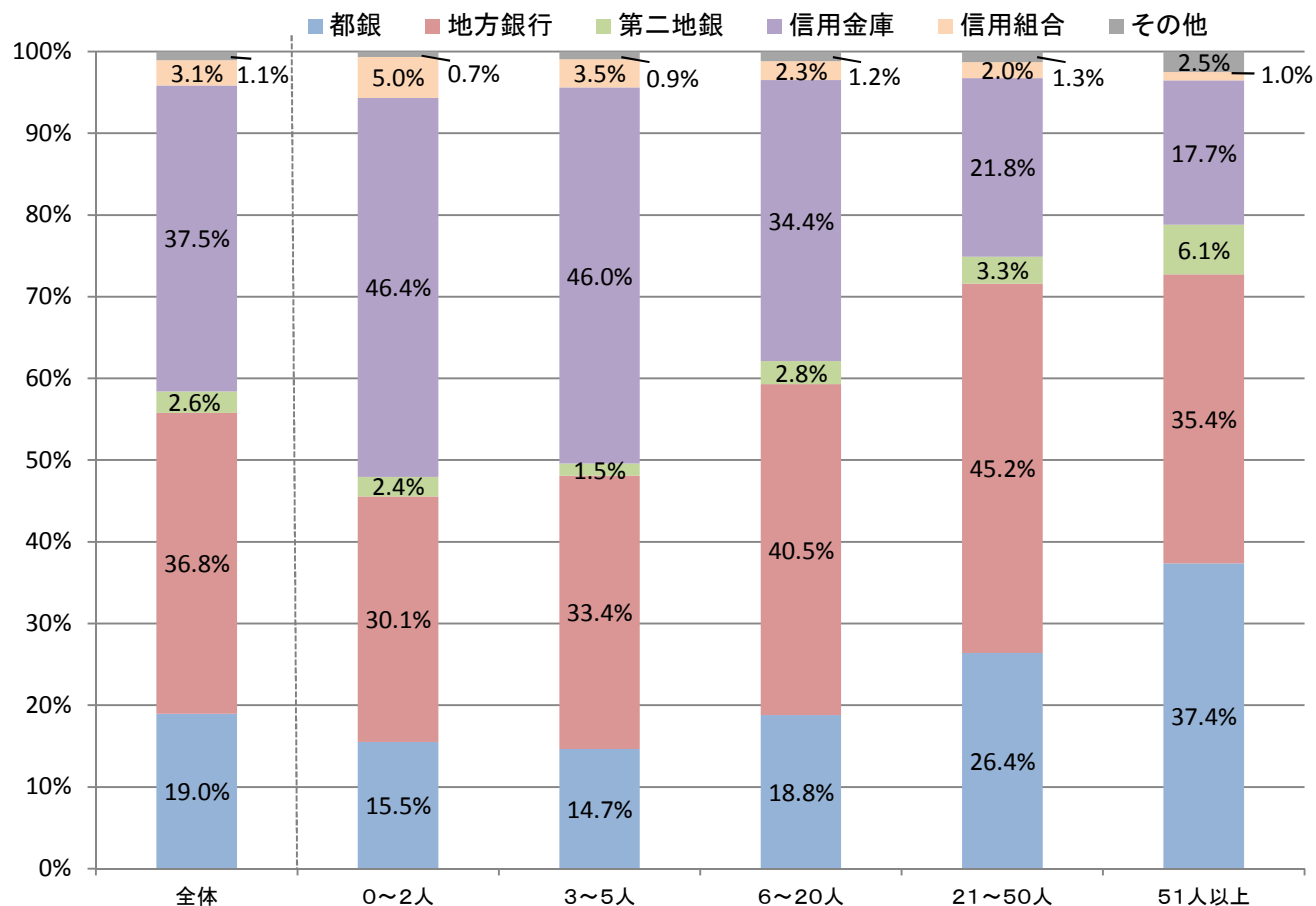
①メインバンクの有無



②借入をしている金融機関数



③メインバンクの金融機関業態(従業員規模別)

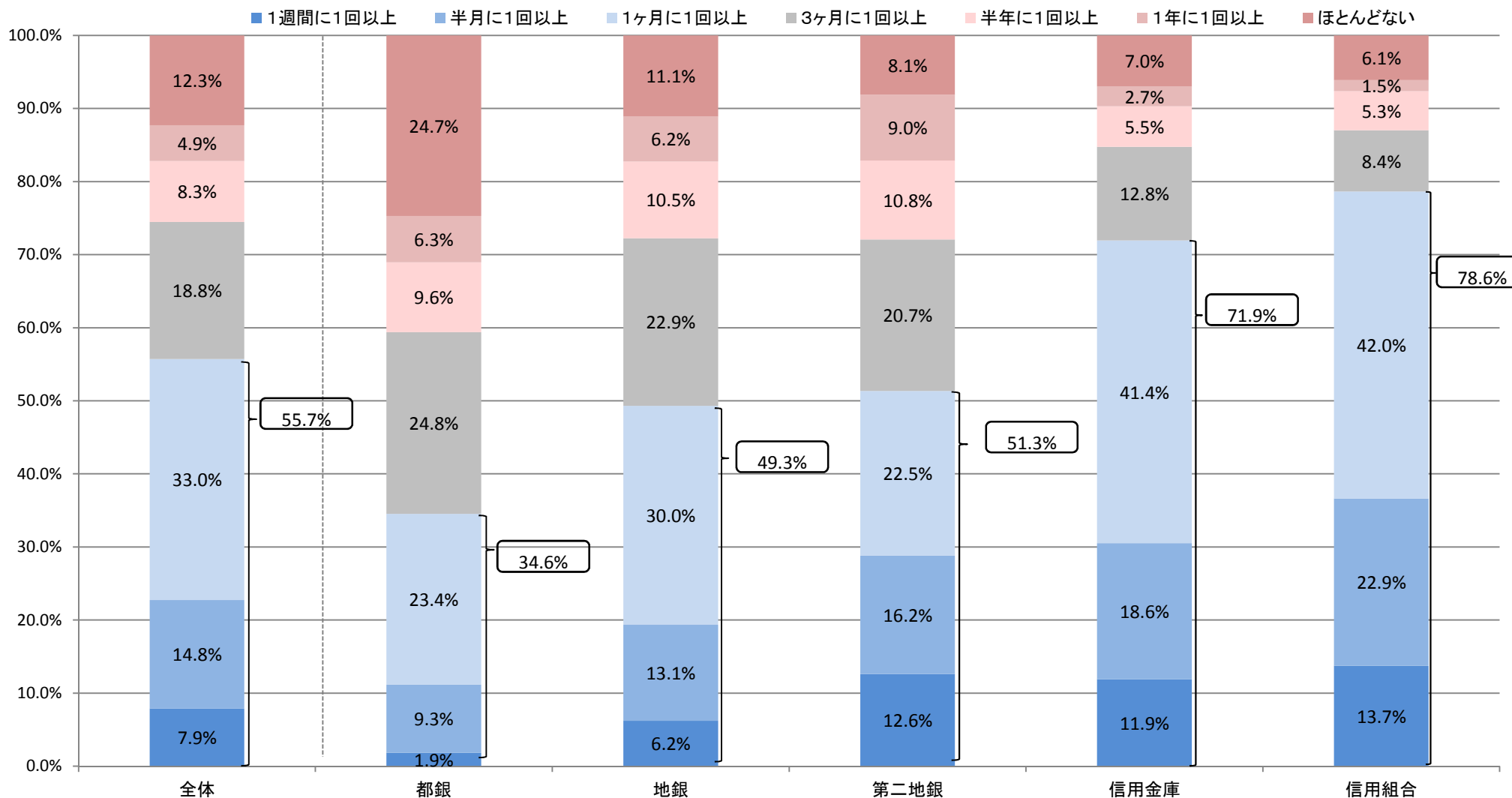


(注)都銀には信託銀行を含む(以下同じ)。

特別調査

(2) メインバンクからの訪問頻度

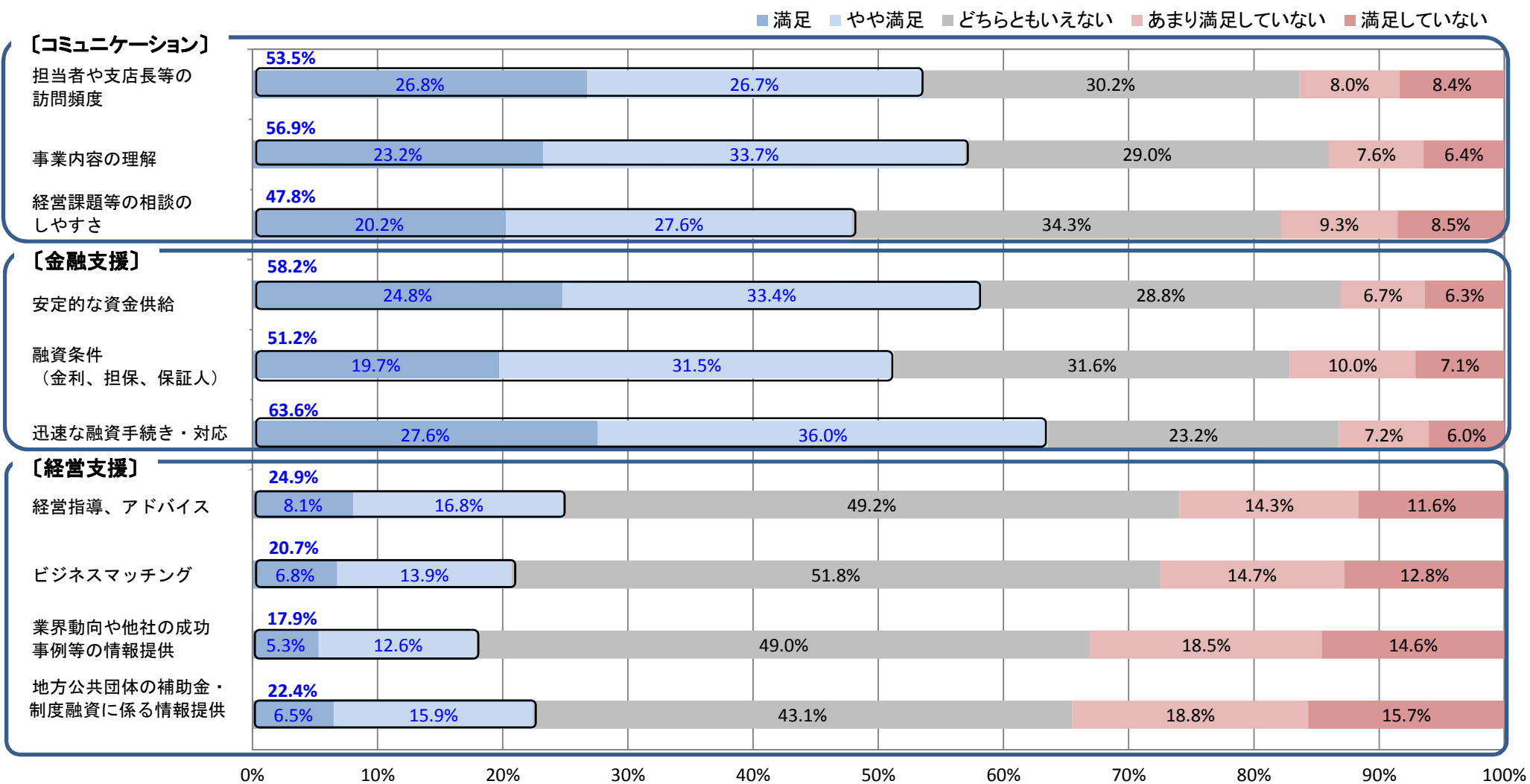
・メインバンクからの訪問頻度については、「1週間に1回以上」、「半月に1回以上」及び「1ヶ月に1回以上」と回答した先の合計は概ね5割となっており、金融機関業態別にみると、信用金庫・信用組合では7割超と他の業態に比べ訪問頻度は高い傾向にある。



特別調査

(3) -1 メインバンクに対する満足度

・メインバンクに対する満足度については、「コミュニケーション」及び「金融支援」に関する項目において、概ね5割から6割の企業が満足（「満足」、「やや満足」と回答した企業の合計。以下、同じ。）と回答している。一方、「経営支援」に関する項目において、満足と回答している企業は概ね2割となっており、「コミュニケーション」及び「金融支援」に関する項目に比べ、低くなっている。

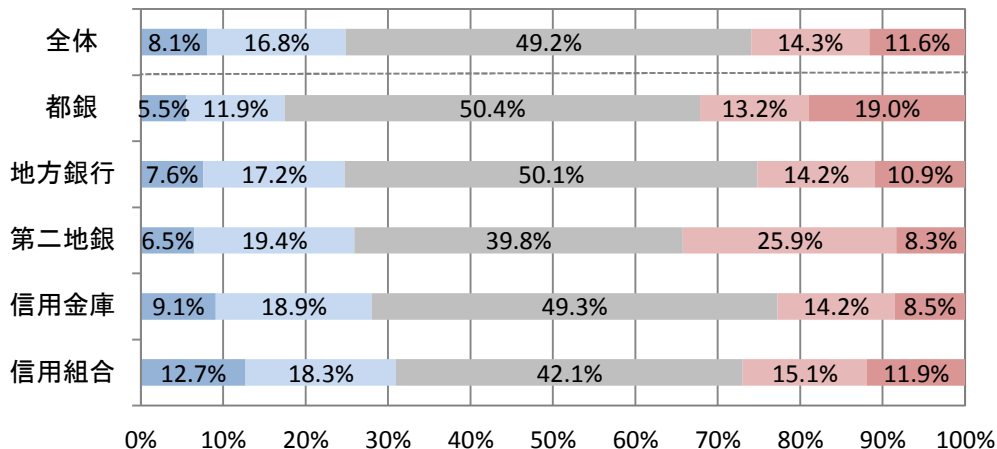


特別調査

(3) -2 メインバンクに対する満足度(経営支援)

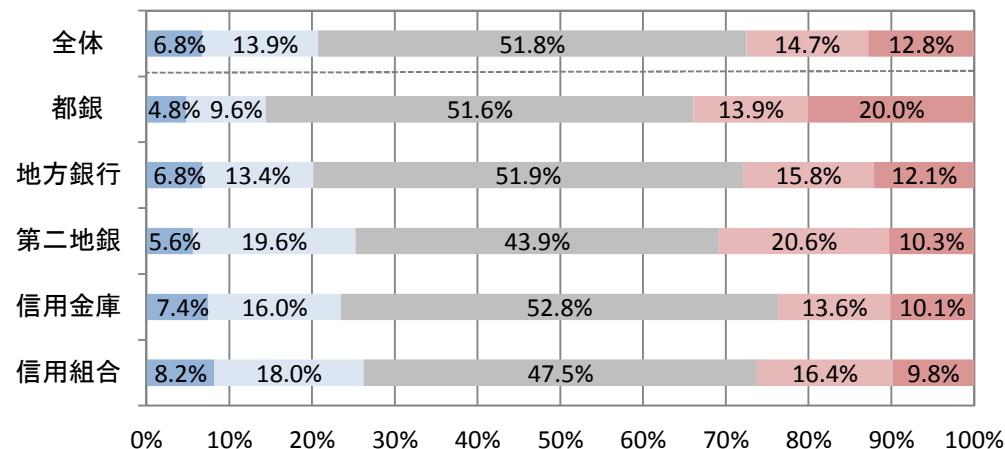
・「経営支援」に関する満足度について、金融機関業態別にみると、いずれの項目においても、信用金庫・信用組合の方が、他の業態に比べ、相対的に高い傾向にある。

〔経営指導、アドバイス〕

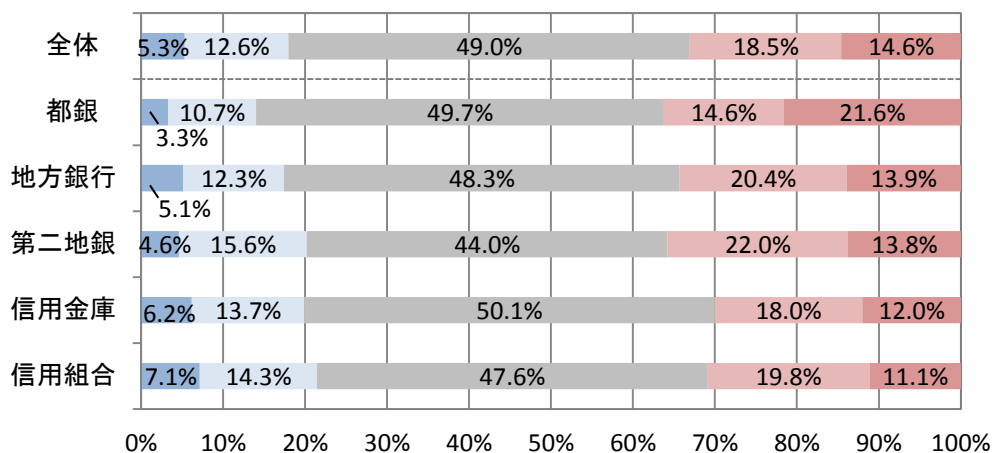


■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ あまり満足していない ■ 満足していない

〔ビジネスマッチング〕



〔業界動向や他社の成功事例等の情報提供〕



〔地方公共団体の補助金・制度融資に係る情報提供〕

